

子どもの居場所での『気づき』を 新しい活動へ

社会福祉法人 岡山市社会福祉協議会

うのっこ食堂

子どもの居場所 つくしんぼ

「子どもの居場所づくり相談窓口」について

- 子どもの居場所の立ち上げから継続までをサポートしています。
- 子どもの居場所づくり相談窓口でのサポート内容
 - ・ 子どもの居場所づくりガイドブックの作成
 - ・ 立ち上げ相談会の開催
 - ・ 助成金の交付
 - ・ 子どもの居場所づくりネットワーク交流会の開催

「子どもの居場所づくり相談窓口」の詳細は
こちらをご覧ください！



「子どもの居場所」とは

「子どもが一人でも安心して利用できる地域の居場所」

子ども食堂 ＜市内に22ヶ所＞

食事を通じて子ども達が安心して話すことのできる居場所



学習支援 ＜市内に4ヶ所＞

教育や学習のサポートだけでなく、勉強する習慣がない子ども達に学習できる場を提供する居場所

プレーパーク ＜市内に2ヶ所＞

子どもたちが想像力を働かせ、工夫して遊びを作り出す体験をする居場所



その他の居場所 ＜市内に14ヶ所＞

場所を開放し、子ども達が自由に好きなことをしている居場所



~うのっこ食堂は忙しいお父さん、
お母さんの応援団です~



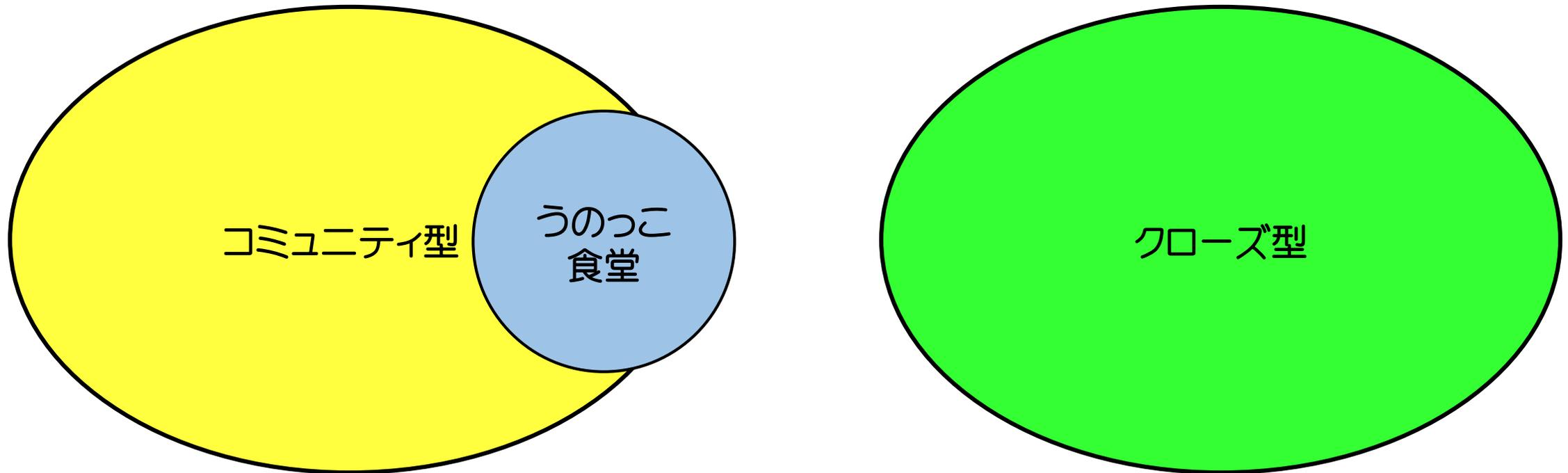
こども食堂を作りたい

- 2012年「相対的貧困」が問題になり子どもの貧困率が16%、6人に1人が貧困
- どこに問題のある子がいるか分からない
こども食堂=貧困の子どもたちが来るところというイメージがあったけど…



全国に広がったこども食堂

誰でも参加できるコミュニティ型のこども食堂
問題を抱えている子どもたちのためのクローズ型のこども食堂
いろんな形のこども食堂がある



うのっこ食堂の特色

- 【対象】

- 小学生(保護者兄弟姉妹)
 - 家族が一緒だと言いたいことを言わないことがある 親の顔色をうかがう
 - 学校・家庭とは違うサードプレイス
 - 子ども同士の会話の中に問題を見つけることがある

- 【ボランティア】

- 中学生以上はボランティアとして参加
 - 自尊心の尊重
 - 次世代の担い手を育てる
 - 一人暮らしの大人もボランティアとして参加することで生きがいを得る

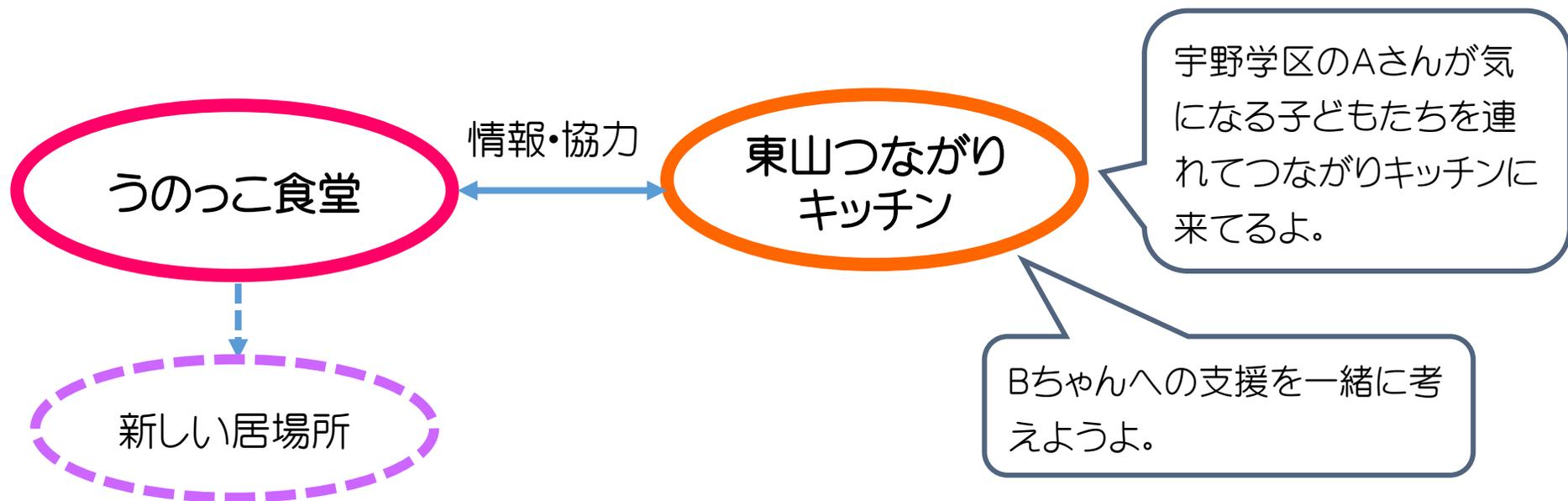
- 【その他】

- 経済的に問題がある家庭や障害児を抱える家庭には弁当や食材配布

大勢の輪に入れない子どもたち

“気になる子ども”に気づく

- * 宇野学区のAさんの長女(4年生)が不登校傾向の2人(BちゃんとCちゃん)と同級生
Aさんが関わり続け、三軒小学区「東山つながりキッチン」にBちゃんとCちゃんを誘って参加
Bちゃんは、参加してもすぐ横になる 昼夜逆転しているみたい 学習のことも気になるよ
- * うのっこメンバーで宇野地域に落ち着いて過ごせる居場所を作ろうと探し始める
- * うのっこ食堂に「少人数対象の食堂を自宅で開きたい」との思いを持っているメンバーがいた



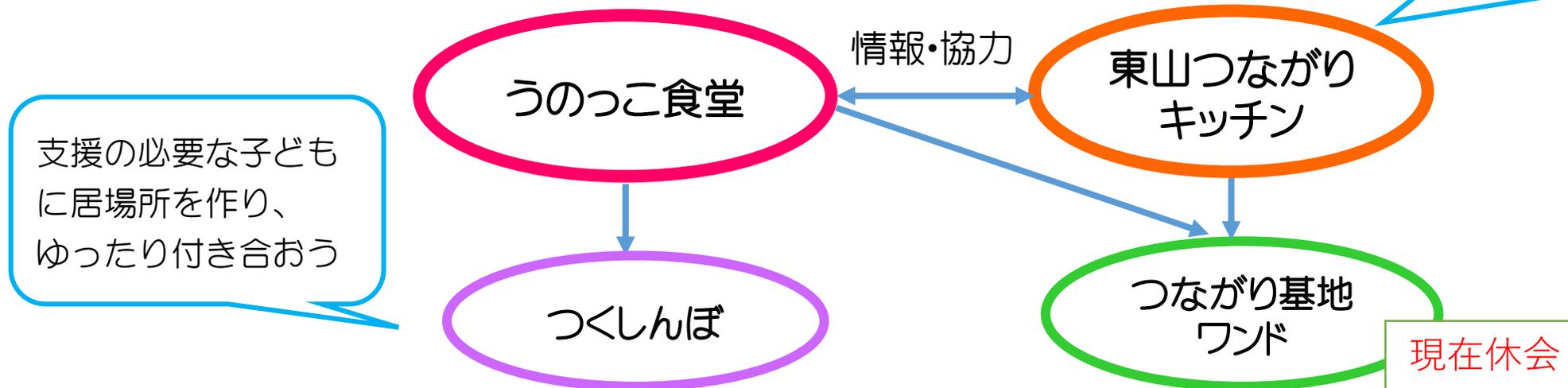
2019年 中学校区に2か所 新たな居場所

「つながり基地ワンド」(週1回) 場所:中学校区にある公民館
高校に進学せず、社会とのつながりがゲームだけになっていたり
不登校気味で、適応指導室に通っている子どもたちが自分の好きな
なことをして過ごせる居場所

「つくしんぼ」(月1回) 場所:宇野学区のコミュニティハウス
不登校気味な子どもたちが少人数でゆっくり過ごせる居場所

社会とのつながりが切れてしま
いそうな子がいるので居場所を
作りたい。

夜間中学の手伝いに行ってみ
てそういう居場所の必要性をと
ても感じた。きっと身近にも必要
としている人がいるはず。

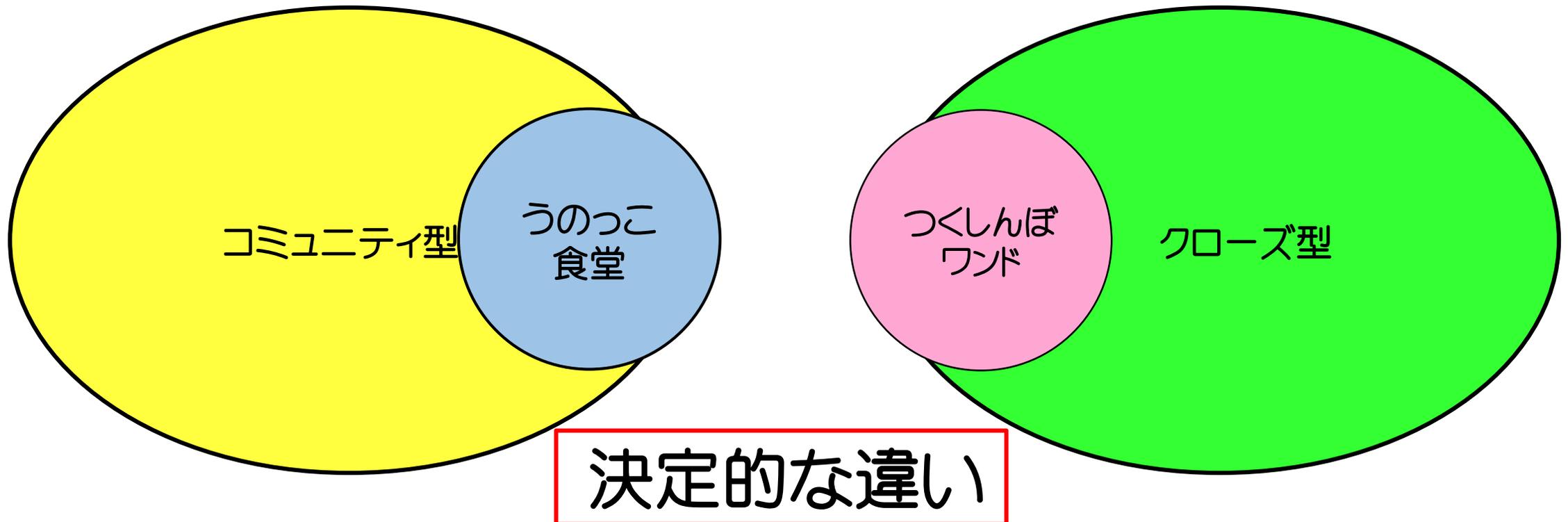


全国に広まったこども食堂

誰でも参加できるコミュニティ型のこども食堂

問題を抱えている子どもたちのためのクローズ型のこども食堂

いろんな形のこども食堂がある



BちゃんとDくんの変化

- 普段は昼夜逆転により、午後にならないと起きないので、つくしんぼの日は食べることから始める
- 始めはフードをかぶり、持参したスマホでゲームをしていて、他の子と一緒に遊ぼうとしなかった
- 学習支援をしようとするが、なかなか興味を示さない⇒無理をしない 先ずは心を開いてもらおう
- 絵を描くのが好きだが、描く絵は少し特殊 ネットの世界が主な遊び場なので、言動も冷めている
- ある日ワンドで「絵師100人展」に出かけると顔つきが変わった⇒外へ出かける体験を増やそう
- 子ども相談主事も母親も「この子は絶対に行かないと思う」と言っていたBちゃんの弟Dくんが参加
- 遊具で遊んでいる時、Dくんの運動能力の低さに気づく 筋力も無い⇒遊んでいるうちに向上
- 体を動かしているときの笑顔がとても子供らしい
- 生き物とのふれあいや自然の中で遊ぶことも好き
- 2人とも学校へ行けることもあったが、今は放課後等デイサービスに通っている

子どもの居場所 つくしんぼ



作って食べよう!





絵師100人展



バスに乗ってショッピングへ



プラネタリウム

さあ、出かけよう!!!



ショッピング中



外食体験



プログラミング



子どもの森



太陽の丘公園



子どもの森



子どもの森

思いっきり体を動かそう！



操山登山

せせらぎ公園



ルーラルカプリ農園



ルーラルカプリ農園



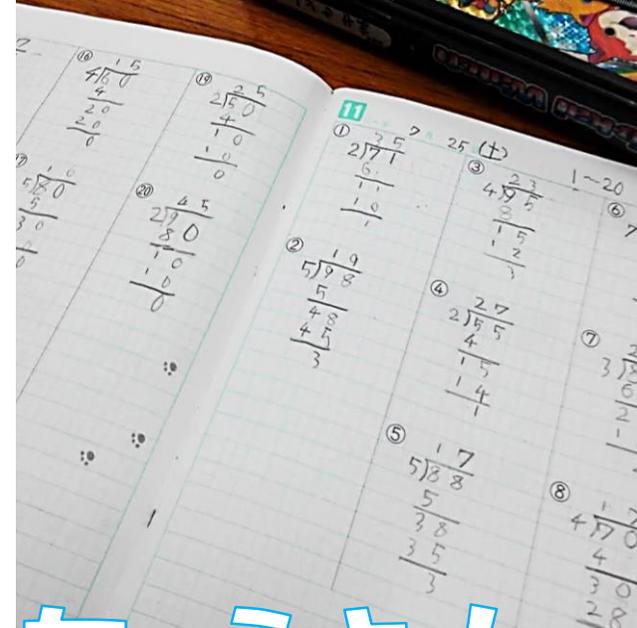
生き物や自然に親しまおう!



メンバーの家で



池田動物園



夏休みの宿題もやっちゃうよ!

種まきと収穫



体験活動を通して

- 頑なだった子どもたちがさまざまな体験を通して素直になり 子どもらしさを取り戻していく
- 表情が明るくなり、Cちゃんは学校へ行くようになった
- 「みんなに出会えたことが嬉しい」と子どもから言われ、共に出会えたことを喜び合えた
- 指示されないと動けなかった子が考えて動けるようになってきた
- 身体が健康になれば心に余裕ができる⇒少し勉強してみようかと思える
- つくしんぼの活動日ではなくてもつくしんぼメンバーの家へ行き交流することができる
- 好奇心が芽生え、やりたいことが増える

課題

- 手助けを必要としている子に居場所の情報をどのように届けていくか
- 一人一人の状況に合わせ、居場所をどのように提供していくか
- いろいろな体験をさせてあげたいが、個人レベルでできることには限りがある



ご清聴ありがとうございました